

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-37 管渠維持管理費 <input type="checkbox"/> 支援部門									
主管課	下水道河川課	関連課	浄化センター、作業センター、道水路管理課							
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)	既存管路施設の機能維持を図り、流入汚水の処理を継続して、適正な施設機能の維持管理を行う。									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数	172,043人	171,425人	171,528人						
事業の対象者数	172,043人	171,425人	171,528人							
運営資源状況	決算値(千円)	66,228	58,792	71,589						
	(国・県)	68								
	(負担金等)									
	(一般財源)	66,160	58,792	71,589						
	人員配置数	2.3人	1.4人	1.1人						
	人件費(千円)	18,108	11,274	9,665						
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	84,336	70,066	81,254						
	市民1人当りの経費(円)	474	395	459						
	対象者1人当りの経費(円)	490	409	474						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→	鎌倉市	小田原市	厚木市	大和市	海老名市				
	管渠維持管理費(百万円)	204	128	173	96	69				
	処理人口(千人)	172.4	160.8	200.4	220.3	123.3				
	対象者一人当り(円)	1,183	796	863	436	560				
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
管渠浚渫延長	○	目標値	実数	実数	実数	実数	100%			
		実績値	31,278	31,278	30,289	27,030				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退										

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
管渠維持管理費	65,609	管渠維持管理費の一部	87,350	今後の方向性	A	理由・手法	「事後保全型の管理」から「予防保全型の管理」を目指して、長寿命化対策で、予算の平準化を目指す。			
私設下水道修繕等支援事業	619			今後の方向性	B	理由・手法	市の補助を利用して設置した私設汚水排水施設の中で、老朽化しているものについて、延命化を図り機能低下を防止しながら、維持管理を推進する。			
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・大規模な住宅団地等の老朽化が進んでいる汚水樹や取付管に宅内の木根が侵入して、下水が円滑に流れなくなる事例が増えている。 ・下水道施設の標準耐用年数50年を越す施設が急速に増える状況で、適切な維持管理や十分な実態調査を実施する。												
課題解決のための取組	・緊急の対応については、作業センター及び委託業者と連携を図りながら、実施した。								取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決			
未解決の課題	・築造後50年を越す下水道施設や耐用年数を経過した蓋等の修繕や交換等の老朽化や長寿命化対策が十分にできていない。												
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・苦情等に即応できる体制を構築し、市民生活への影響を最小限にする。 ・苦情内容のデータ化を図り、原因解明に役立て根本的な対策を検討する。 ・将来的な維持管理費の増加を抑制するために、ライフサイクルコストに配慮した下水道施設の整備を行う。										A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ A	※事業完了	

評価者名

下水道河川課担当課長

藤木 修

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△					
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		
管渠維持管理費	管路施設内の堆積物の除去、伏越箇所浮遊物・堆積物の除去・清掃や、蓋の不具合による振動・騒音の解消及び道路陥没の原因となる破損した取付管等の修繕や布設替えを行う。管渠等の事故の頻発化に伴い、原因調査の充実を図り、大規模な修繕工事を実施するまでの間に必要な管渠等修繕工事を行い、効率的な維持管理を行う。				○	○	○	○		
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
		536	消耗品費	133	130	○	○	○	○	
		536	印刷製本費	30	26	○	○	○	○	
		536	汚水管渠等維持修繕料	20,000	8,941	○	○	○	○	
		536	汚水管渠等しゅんせつ委託料	40,000	42,074	○	○	○	○	
		536	汚水管渠等調査委託料(緊急時)	3,000	830	○	○	○	○	
536	マンホール蓋・受枠交換、路面復旧及び管渠等修繕工事請負費	29,000	13,608	○	○	○	○			
536	地価埋設物移設等補償金	160	0	○	○	○	○			
※□	事業完了									
私設下水道修繕等支援事業	私設下水道修繕等の支援補助を行い、下水道事業として水質保全及び維持管理の向上を図る。				○	○	○	○		
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
		1476	共同私設下水道施設修繕等補助金 1件	10,000	619	○	○	○	○	
		1476	私設汚水ポンプ施設修繕等補助金 0件		0	○	○	○	○	
		※□	事業完了							
		[空欄]	[空欄]							
			主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△		
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了									
[空欄]	[空欄]									
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了									
[空欄]	[空欄]									
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了									